

平成19年1月10日

J A R I P 会員各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事
栗山晃・福田敬・臼杵政治

J A R I P 平成18年度第5回研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本保険・年金リスク学会（J A R I P）では会員の研鑽のため、重要なテーマについてより深く研究討議を行う研究会を実施しております。平成18年度第5回の研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回は、小泉内閣の時代から懸案となっており、昨年4月の閣議決定に基づいて現在法案が取りまとめられようとしております被用者年金制度の一元化というテーマとの関連で、海外の公務員年金の概要について、坂本純一氏からご報告をいただきます。

被用者年金制度の一元化というテーマは、公的年金制度の安定性を高め、同時に公平性を確保することを基本的な考え方として、厚生年金と共済年金の保険料率を統一し、制度的な差異を揃えようとするものです。その際、公務員に対する年金をどのように再構築するかは、このテーマの解決のために取り組まなければならないひとつの大きな課題になります。そのための参考として、欧州の主要国における公務員の年金制度がどのような考え方のもとに如何に構成されているかの概要を報告してもらうことにより、わが国の状況との比較を通じて、被用者年金制度の一元化というテーマについての理解を深めたいと考えます。

こうしたことから研究会においては、ご報告とその後の会員各位との質疑応答を**行いたい**と考えています。

会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 第5回研究会

日時：平成19年（2007年）1月30日（火）3時から5時

場所：朝日生命会議室

（地下鉄大手町駅またはJR東京駅下車、徒歩5分）

（別紙 周辺地図をご参照下さい）

講師：坂本 純一（さかもと じゅんいち）氏/野村総合研究所 金融ITイノベーションセンター 主席研究員 前厚生労働省年金局数理課長

テーマ：海外の公務員年金制度の概要

社会保障年金とは独立の年金制度が適用されている国：ドイツ、フランス

社会保障年金が適用された上に、職域年金制度として公務員年金がある国：イギリス、スウェーデン
わが国への示唆

2. 参加申込

参加希望者のお名前・所属組織名・E - メールアドレス・電話番号に加え、件名を「第5回研究会への参加申込」と明記の上、E - メールにて

To : office@jarip.org (日本保険・年金リスク学会事務局 担当：中村)

cc : kuriyama_akira@mail.asahi-life.co.jp (同研究会担当：栗山晃)

迄お申込ください。参加申込は1月26日(金)迄とさせていただきます。

3. 参加費

研究会の参加費は無料ですが、資料代などの実費をカバーするため、会場にて1,000円程度のカンパをお願いしております。趣旨ご高配の上、ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。またカンパの趣旨から領収書の発行は行っておりません、ご了承いただきたくお願い申し上げます。

以上